

2023.11.19 洲本市域学連携事業10周年記念シンポジウム

洲本市のご紹介

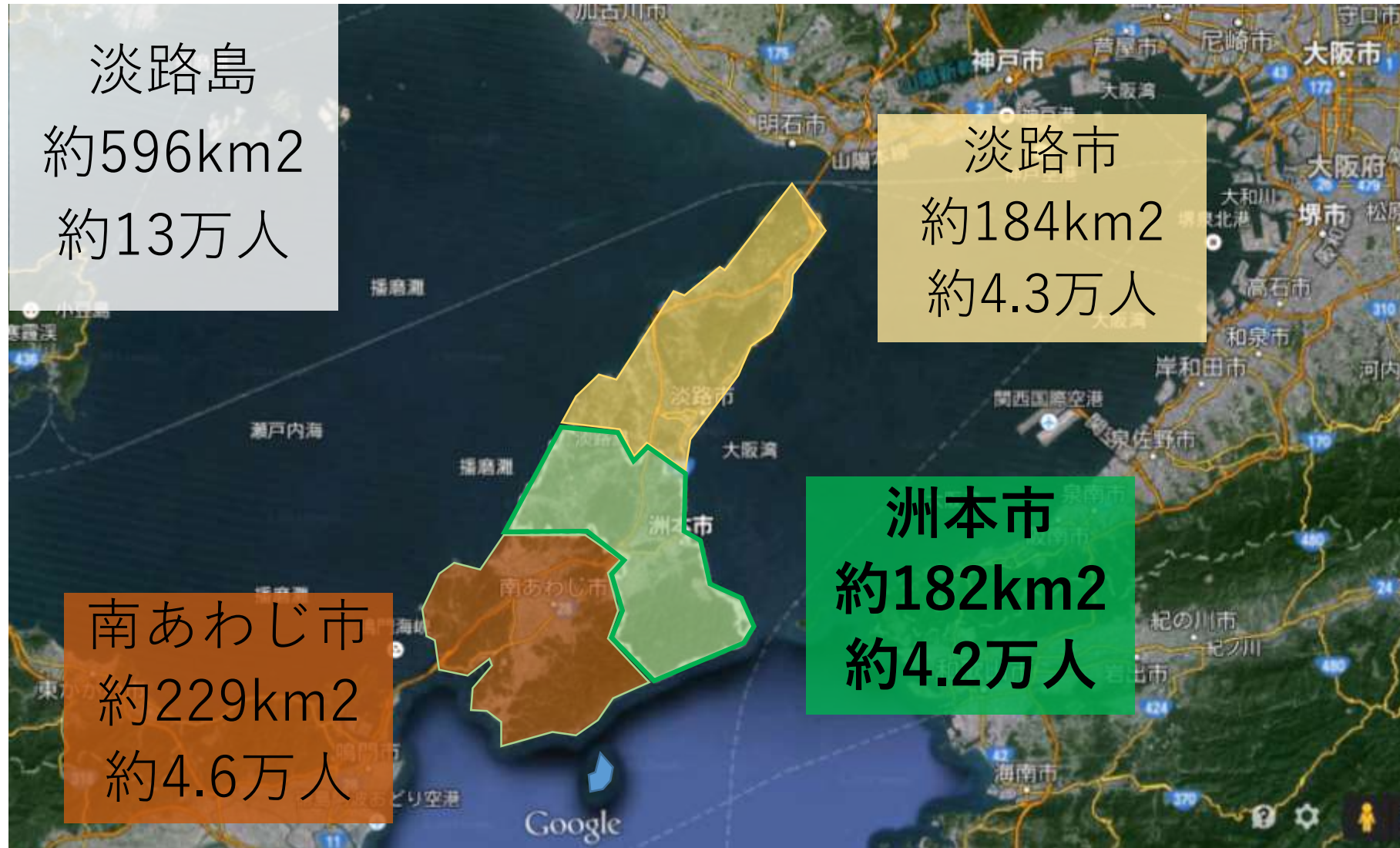
～ 域学連携事業によるまちづくり～

シンポジウムのポイント

洲本市長 上崎勝規



淡路島・洲本市の紹介



洲本市の魅力や資源

- 面積182.38km²
宅地3割、農地1割、山林6割
- 瀬戸内海気候
- 人口約4.2万人
- 高齢化率36.6%

旧五色町
なだらかな丘陵地帯

洲本市街地
洲本川沿いの平野部

先山山系
先山：448m
イノシシ多い

諭鶴羽山系
柏原山：569m
シカ多い



洲本市の紹介（洲本市街地）



紡績工場跡

洲本市出身の著名人

阿久悠、大地真央、朝比奈彩、
キムラ緑子、堀井雄二・・・



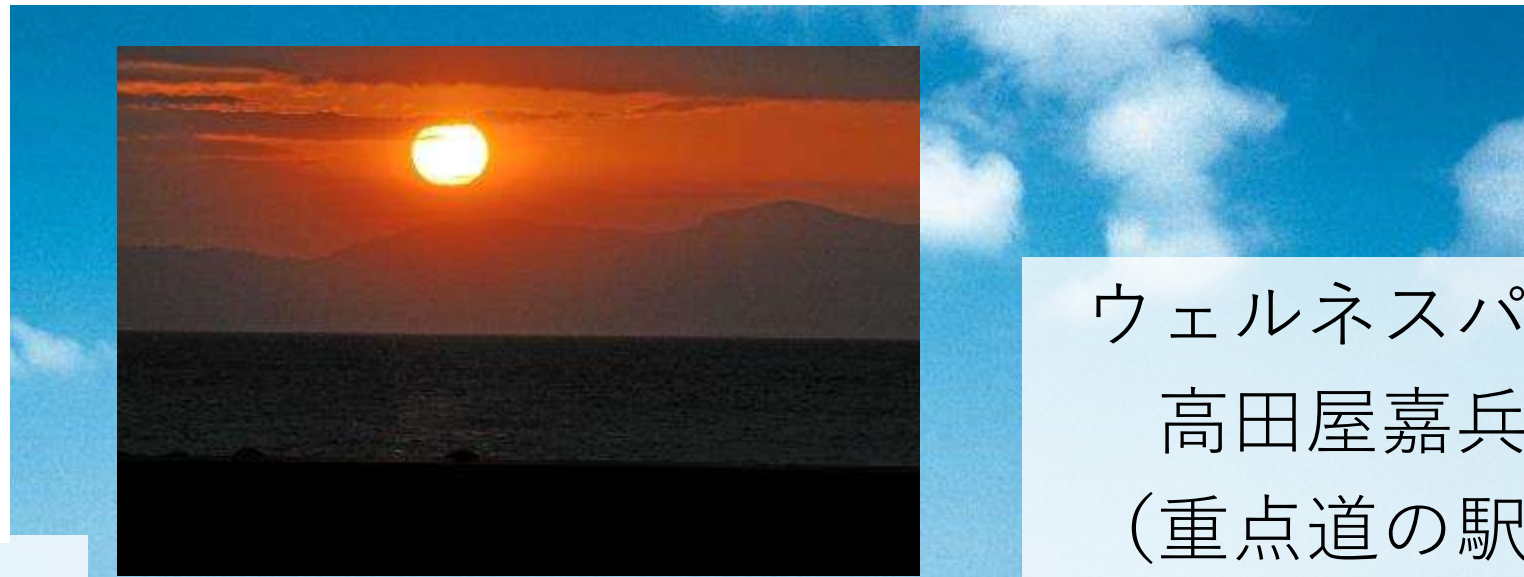
三熊山／洲本城



洲本市の紹介（旧五色町中心地）



嘉兵衛さん生誕地



ウェルネスパーク五色
高田屋嘉兵衛公園
（重点道の駅に指定）



洲本市の紹介（農漁業・食）

淡路たまねぎ
（たまねぎ小屋）



サワラなど
新鮮な魚介類



淡路ビーフ



牛丼



生サワラ丼



みけつくに

“御食国”と呼ばれる山海の幸の宝庫



洲本市の紹介（観光地）

洲本城と登り石垣



あわじ花山水 あじさい園



淡路橋立 成ヶ島



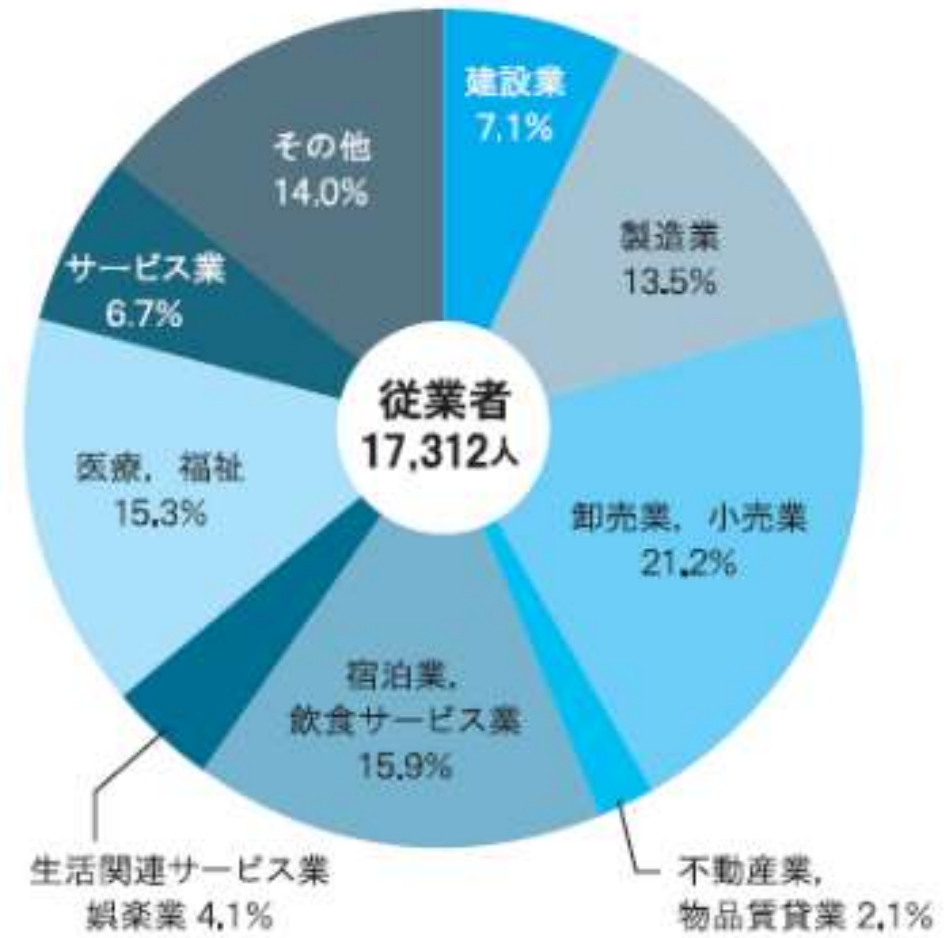
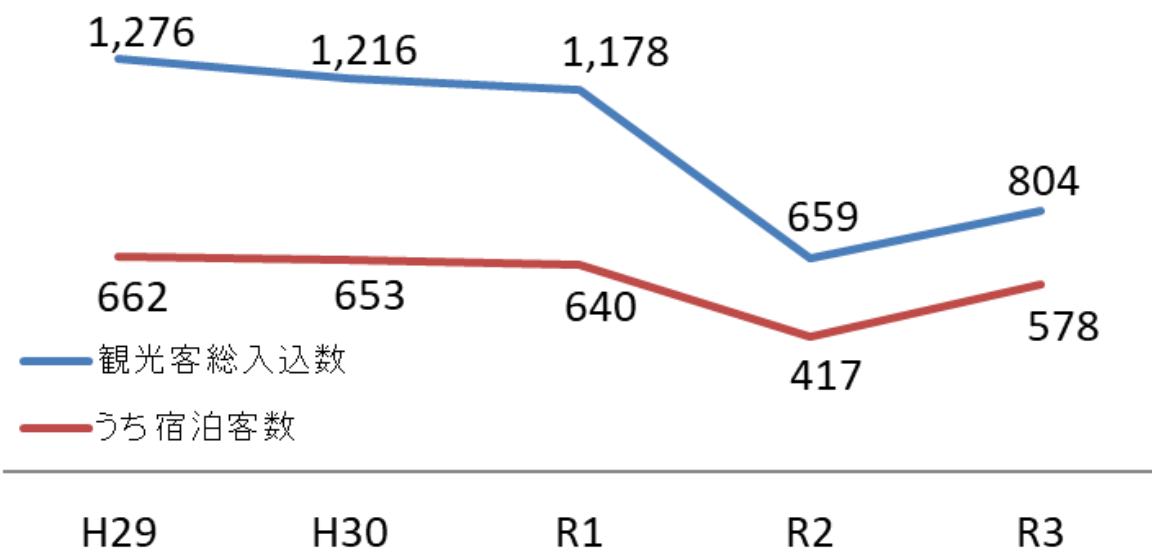
淡路富士(先山)と菜の花畑



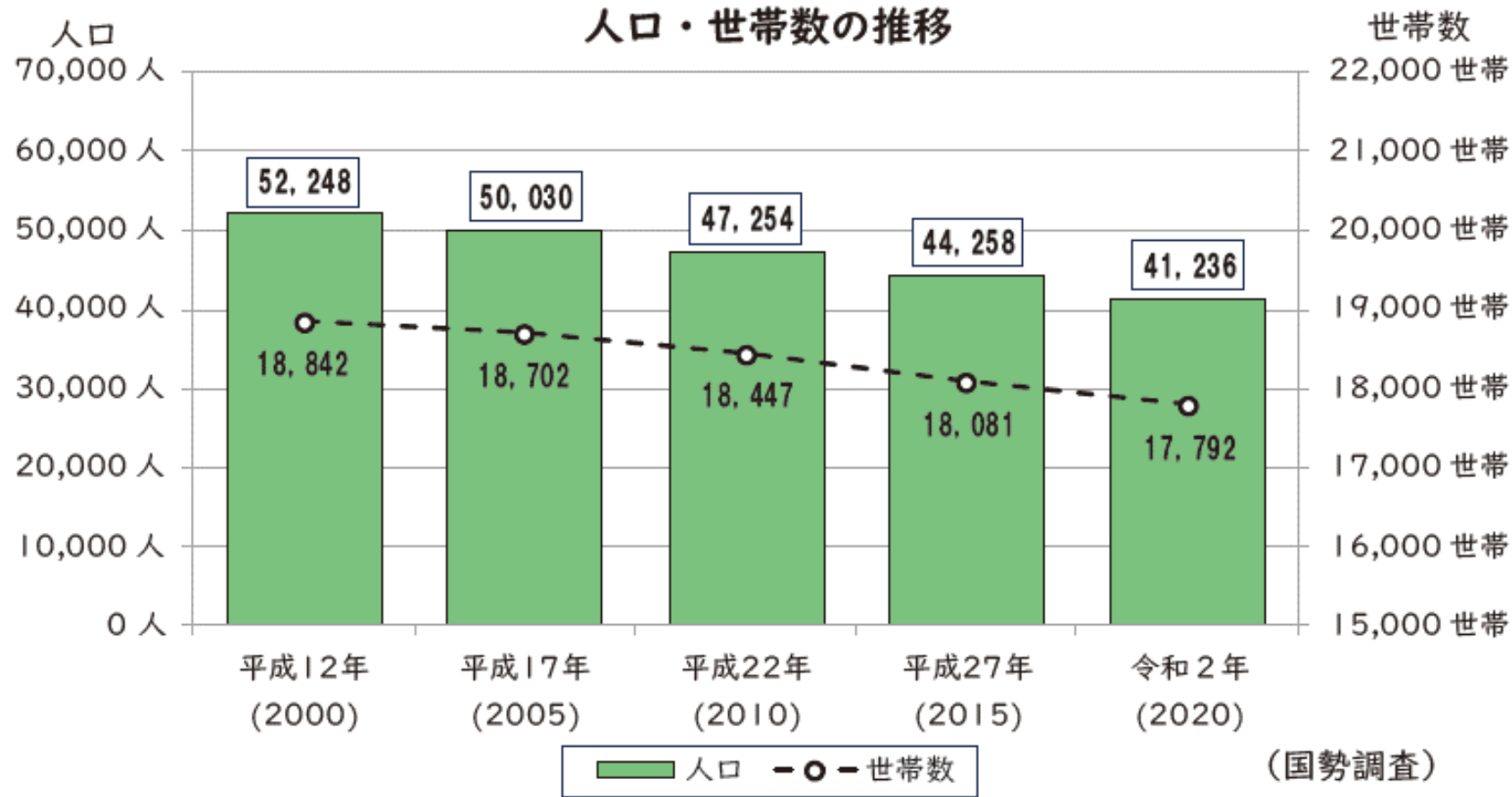
洲本市の紹介（観光・産業構造）

平成28年 産業大分類別従業者数(民営)

洲本市観光客数(千人)



洲本市の紹介（人口）



人口が毎年約600人減り続ける【過疎地域】

洲本市の紹介（人口）

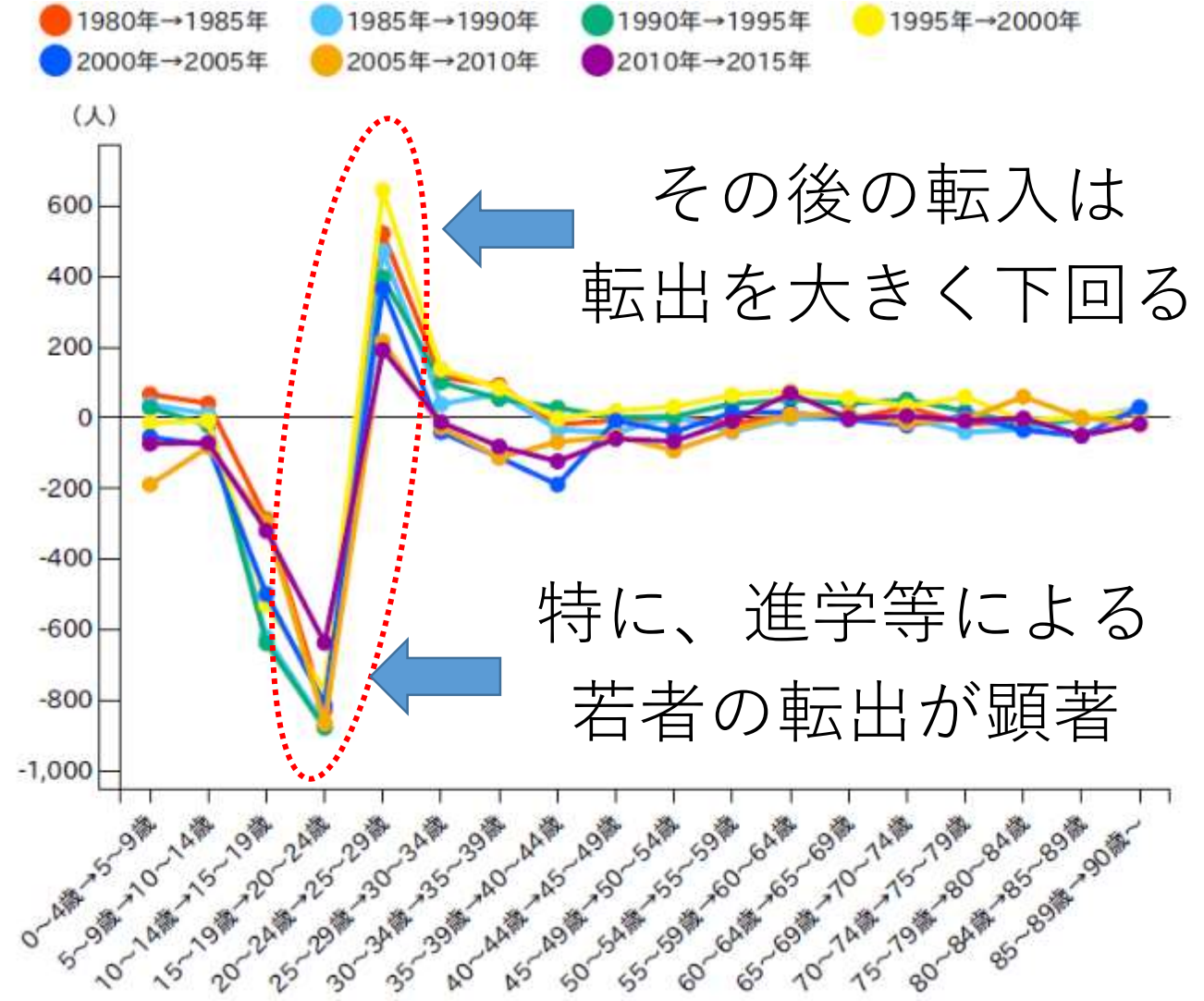
淡路島には総合大学が
無く、洲本市には高校
までしかない

高校卒業後、進学や就
職で島外へ

一度島から出ると帰っ
てこない

次世代を担う若手が少
ない

活力と賑わいが低下



洲本市の域学連携事業



洲本市の域学連携事業

- 若者が出ていくばかりでなく、逆に都市部から呼び込もう
- 大学と連携して、まちづくりをやっていこう

2013年度から
【域学連携事業】に取り組み
／ 10 周年 ／

洲本市の域学連携事業

- 大学の知見の活用
- 学生を若い人材として活用
- 地域の活性化に

- 学生の育成
- 実践の場が得られる
- 教育や研究へのフィードバック

地
【域】

WIN・WIN

×

大
【学】

大学生と大学教員が地域の現場に入り、地域の住民や団体とともに地域課題の解決や地域づくりに継続的に取り組み、地域の活性化や人材育成に資する（by総務省）

洲本市の域学連携事業の特徴

👉 “大学・学生”の特徴

- 京阪神の大学が多い（遠方だと交通費が高額になる問題も）
- 活動は、日帰り～2泊3日が多い
- 1か月以上の長期滞在活動も、たまにある
- 講義受講、ゼミ活動、サークルなど様々
- ほとんどの学生が、単位取得目的ではない
- コロナ禍もあり、現地活動を望む学生は多い

洲本市の域学連携事業の特徴

👉 “ 地 域 ” の特徴

- 町内会などの任意団体や、企業が受け入れ
- 農村から市街地まで、活動エリアは様々
- 民泊させることがマストではない
- 学生受入に係る金銭的負担は、ほとんどない
- 学生の活動を（常識内で）まずは受け入れてくれる
懐が深いリーダーがいれば、だいたいOK

洲本市の域学連携事業の特徴

👉 “行政”の特徴

- 市職員3名で事業を回している
- 学生の交通費は、市が負担（予算の範囲内）
- 学生が無料で滞在できる施設を、市が用意
- 現地移動には市マイクロバスなど用意
- 地域おこし協力隊員も活動をサポート
- 地域と大学の「マッチング」が最重要業務

検索!!

域学連携の実績

- 10年間で、33校から約860名もの大学生が洲本市で活動
- 地域と学生で、たくさんの「おもしろい」ことにチャレンジ

挙げるとキリがないので
ホール外の「**ポスターセッション**」
でチェック！

2014～ ロングトレイルコース整備
(近畿大学ほか)

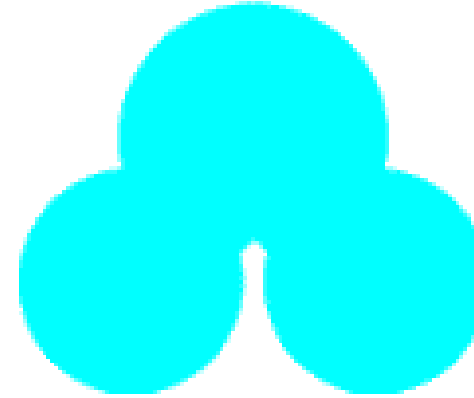
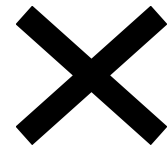
2015～2016 宮内庁カヌー教室
(京都工芸繊維大学ほか)

2017～ 地域貢献型ため池カガソーラー発電事業 (龍谷大学)

“域学連携発”ローカルイノベーション



“域学連携発”ローカルイノベーション



洲本市
Sumoto City

- 2013年、龍谷大学の白石先生から“一緒にやろう！”と言っていただき、洲本市で「域学連携」がスタート
- 龍谷大学は、再生可能エネルギーの活用による地域活性化をテーマの一つに掲げ、市内で活動

“域学連携発”ローカルイノベーション

- 2013年度 洲本市再エネ条例制定支援
- 2014年度 自家消費型小水力発電施設を設置
- 2016年度 白石先生らが発電会社 **PS洲本(株)を設立**
- 2016年度 龍谷大、PS洲本、洲本市、信金信組2行の5者で**地域貢献型再エネ事業推進協定**を締結
- 2017年 協定に基づき、PS洲本が**市有の農業用ため池2ヵ所に地域貢献型太陽光発電所を設置**

非営利型
株式会社



“域学連携発”ローカルイノベーション

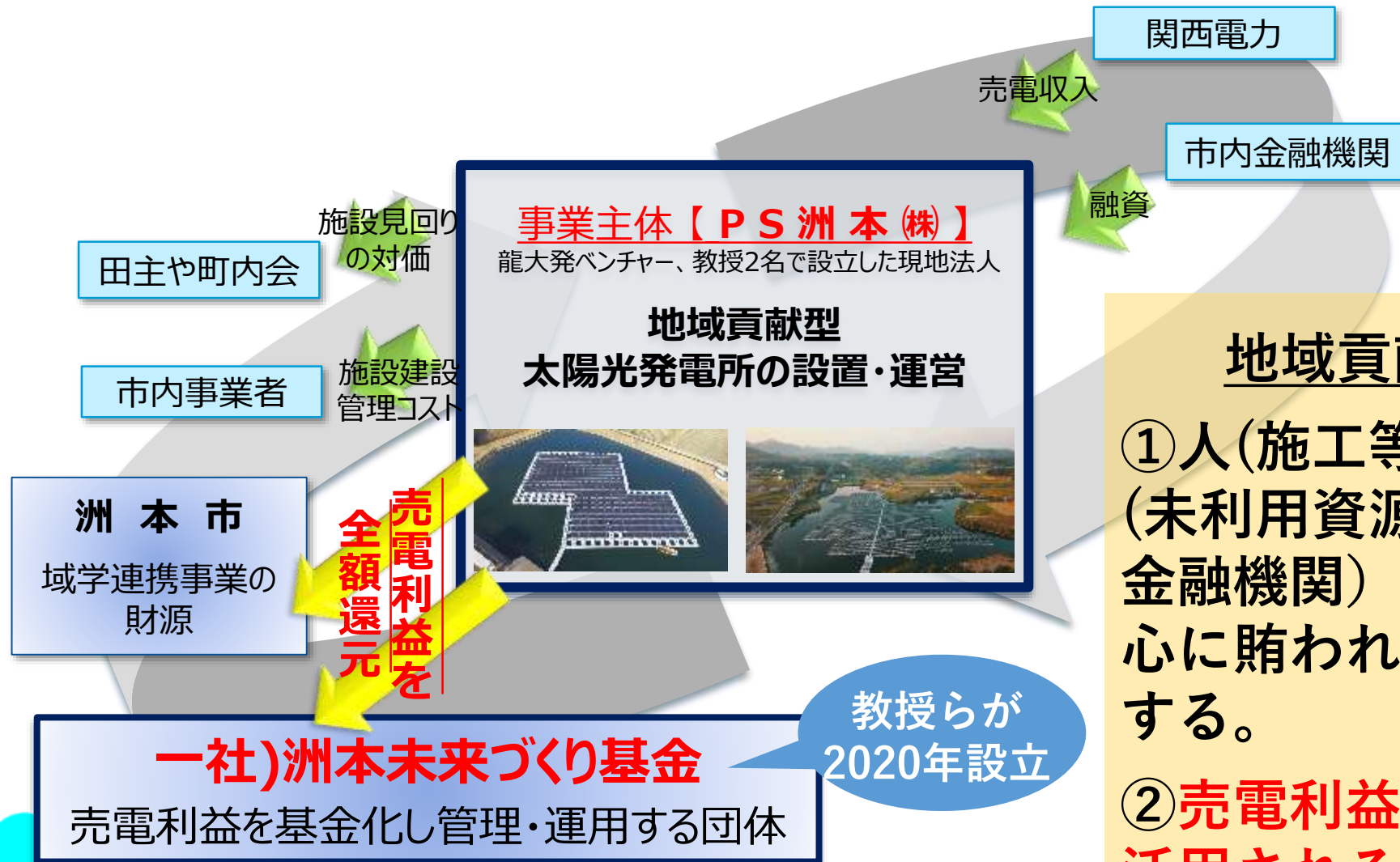


塔下新池ため池ソーラー発電所
73kW 事業費約22百万円



龍谷フロードソーラーパーク洲本
1,706kW 事業費約7億円

“域学連携発”ローカルイノベーション



ちなみに対義語は「収奪型再エネ事業」で、全国のメガソーラーのほとんどがソレです（売電の恩恵が地域にほとんど残らず、お金持ち企業しか儲からない）

地域貢献型再エネ事業とは

- ①人(施工等業者・住民団体) 物(未利用資源・公有財産) 金(融資 金融機関) が市内にある資源を中心に賄われることで、経済が循環する。
- ②売電利益が地域活性化のために活用される。

“域学連携発”ローカルイノベーション

PS洲本及び洲本未来づくり基金による地域活性化支援

2021～
直営事業



2021年3月、洲本商工会議所1階に「龍谷大学ユヌスソーシャルビジネスリサーチセンター洲本ブランチ」を開所。社会起業家育成支援の拠点として、また、コワーキングスペース「島の編集室SENKA」として常時オープン。

“域学連携発”ローカルイノベーション

PS洲本及び洲本未来づくり基金による地域活性化支援

2021～
団体助成



洲本ブランチを活用
したデジタル人財育
成講習会開催

【オニオンデザイン】



放置竹林の適正管理
と、あわじ島ちく
(メンマ) 製造販売

【あわじ里山プロジェクト】



原木椎茸やお米のブ
ランディング・商品
開発

【大森谷里山保全隊Rijin】



ワーケーション事業
者によるローカルビ
ジネス創出支援

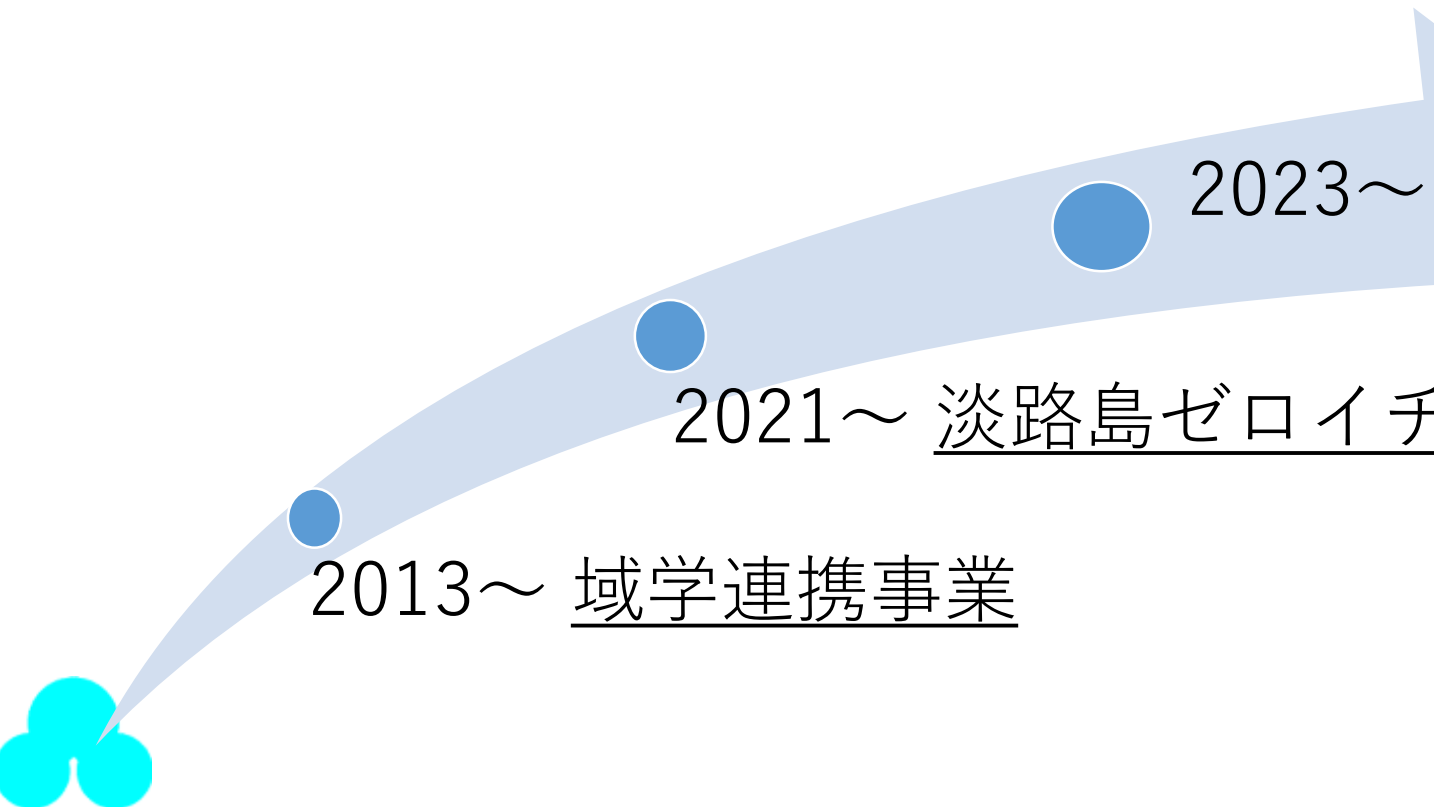
【淡路島ゼロイチコンソーシアム】

域学連携の進化・深化



多様な連携への発展・対応

域学連携による“外部人材との協働”の素地を生かし、大学に限らず、都市部の企業や若者との連携によるまちづくりに発展。それに対応するための体制づくり、マンパワー確保も進める。



2013～ 域学連携事業

2021～ 淡路島ゼロイチコンソーシアム設立

2023～

淡路島クエストカレッジ開校
地域活性化起業人の配属

随 時

都市部民間企業との連携協定締結
(人材育成、災害対応、ワーケーション推進等)

淡路島ゼロイチコンソーシアム設立

テレワークやワーケーション等で訪れる企業とともに、洲本市の資源や魅力を活かした事業を創出するプラットフォームとして、株式会社シマトワークス、淡路信用金庫、洲本市の三者で設立



2022 第4回純国産 MMA サミット in 淡路島開催支援

NIKKEN



2023～ 淡路島クエストカレッジ 開校





淡路島クエストカレッジ開校

都市部の若者、地域の住民や企業を対象に、洲本市の資源の活用、課題解決などを題材にした実践型の学びの場として開校。人材育成だけでなく、学びの成果を地域活性化に繋げる。

「自分にもっと、冒険させよう。」

淡路島クエストカレッジは、
地域課題の解決に向けたチャレンジを通じて**冒険人**を育む実践の場。

Challenge.1

Local problem

地域や地元企業が抱える
課題に取り組む挑戦

×

Challenge.2

Think future

自分自身の将来を
考え見つめ直す挑戦



2023.8～ 武庫女×大経大PBLプログラム
(オンライン講座、フィールドワーク、mtアート制作等)

地域活性化起業人の配属

AKKODIS

Tさん(4年目32歳男性)

月の半分以上を洲本市内のコワーキングスペース等で勤務

WORK ACADEMY

Sさん(4年目27才女性)

地域の住民や企業が
スキルアップや研修
のために参加

ワークアカデミー
のネットワークを
活かし、学びた
い・チャレンジし
たい若者を誘致

<< ミッション >>

“企業の強み”と“地域の資源や魅力”を活かし、課題解決や
活性化に繋がる【学びの場】を市内に創出する

デジタル技術を用いた学び
や課題解決の機会の提供

学生向け、転職者向けの
教育プログラムの提供

淡路島ゼロイチ
コンソーシアム
や淡路島クエス
トカレッジがサ
ポート

域学連携に参画
する大学の学生
らが参加

地域内外での人材育成・人材交流 / 関係人口の創出拡大

域学連携の更なる発展 + 学びの成果をローカルビジネスの創出に繋げる

シンポジウムのポイント



域学連携活動成果・本日発表内容の確認

域学連携活動の成果：

壇上で発表はしませんので、ホール外のポスターセッションにて出展者と交流しながら確認してください

本日発表内容：

全てホームページに掲載していますので、本日配付したプログラムのQRコードからアクセスし確認してください

シンポジウムを文字化、映像化した資料も、後日公開しますので、同じくQRコードからご確認ください



域学連携が10年間継続した背景や要因

～ プログラム前文(抜粋) ～

事業を主導してきた側の考えです

10年間の域学連携による、多種多様な学び・共創・チャレンジ・おもしろいことなどを通して、**地域と人が共鳴し、相互に成長・発展**を遂げてきました。

また、そこに至る要因や背景として、**地域と人に「変化や代謝への寛容さ」「自身の感度を信じて動き続けた経験の蓄積」「今だ！これだ！というタイミングの気付き」「飛び込む準備・意思・行動」が（無意識のうちに）備わっていた**、ということが挙げられます。

このような備えは、**ワクワクする「冒険」に繰り出すかのような地域づくり、人づくりにも繋がる**と考えています。

域学連携を考えるためのキーワード

～ プログラム ～

■基調講演

指出一正（『ソトコト』編集長）
「わたしたちはローカルで幸せを見つける
～関係人口とウェルビーイング～」

石山恒貴（法政大学大学院政策創造研究科教授）
「“冒険人材”の受け入れ方、活かし方」

■パネルディスカッション

コーディネーター：中川悠（NPO法人チュラキューブ代表理事）

[一部]「域学連携10年の批評と、今後10年を見据えた提言」

白石克孝（龍谷大学政策学部教授）

野田満（近畿大学総合社会学部講師）

小林力（洲本市地域おこし協力隊）、指出一正、石山恒貴

[二部]「“淡路島クエストカレッジ”による冒険し続ける地域と人のつくりかた」

富田祐介（株式会社シマトワークス代表取締役）、柴橋静華（株式会社ワークアカデミー執行役員）、上崎勝規（洲本市長）、指出一正、石山恒貴

関係人口

越境学習
冒険人材

域学連携の批評と提言

～ プログラム ～

■基調講演

指出一正（『ソトコト』編集長）
「わたしたちはローカルで幸せを見つける
～関係人口とウェルビーイング～」

石山恒貴（法政大学大学院政策創造研究科教授）
「“冒険人材”の受け入れ方、活かし方」

■パネルディスカッション

コーディネーター：中川悠（NPO法人チュラキューブ代表理事）

【一部】「域学連携10年の批評と、今後10年を見据えた提言」

白石克孝（龍谷大学政策学部教授）

野田満（近畿大学総合社会学部講師）

小林力（洲本市地域おこし協力隊）、指出一正、石山恒貴

【二部】「“淡路島クエストカレッジ”による冒険し続ける地域と人のつくりかた」

富田祐介（株式会社シマトワークス代表取締役）、柴橋静華（株式会社ワークアカデミー執行役員）、上崎勝規（洲本市長）、指出一正、石山恒貴

域学連携を批評するパネルディスカッション[一部]を重要プログラムと考え、**事前にワーキンググループを3つ立ち上げ**、関係者が参加し10数回開催

WG 1：連携最古参の龍谷大学の活動に関する検討【白石】

WG 2：様々な連携大学連携企業の活動に関する検討【野田】

WG 3：大学と共に歩む地域団体、行政の活動に関する検討【小林】

冒険し続ける地域と人のつくりかた

～ プログラム ～

■基調講演

指出一正（『ソトコト』編集長）
「わたしたちはローカルで幸せを見つける
～関係人口とウェルビーイング～」

石山恒貴（法政大学大学院政策創造研究科教授）
「“冒険人材”の受け入れ方、活かし方」

■パネルディスカッション

コーディネーター：中川悠（NPO法人チュラキューブ代表理事）

[一部]「域学連携10年の批評と、今後10年を見据えた提言」

白石克孝（龍谷大学政策学部教授）
野田満（近畿大学総合社会学部講師）
小林力（洲本市地域おこし協力隊）、指出一正、石山恒貴

[二部]「“淡路島クエストカレッジ”による
冒険し続ける地域と人のつくりかた」

ポスターセッション、基調講演、パネルディスカッション一部などを踏まえ、今後10年の域学連携をどのように発展させるのか、またその担い手として「淡路島クエストカレッジ」はどのような理念や役割を持つべきか、等について議論

富田祐介（株式会社シマトワークス代表取締役）、柴橋静華（株式会社ワークアカデミー執行役員）、上崎勝規（洲本市長）、指出一正、石山恒貴



やってみらんかい

域学連携の発展のために
皆様のより良い活動のために
ずっと住みたい洲本の実現のために...

シンポジウム、ご期待ください！

ヨッシャー



洲本市（企画情報部企画課政策調整係）

kikaku@city.sumoto.lg.jp <https://bankalanka.com/>

